
全体編

1. 受講者のバックグラウンド

- 職種・業種
アンケート回答者には、自営業・会社員（一般/管理職）など多様な職種がおり、業種も農林業・水産業から広告業まで幅広い分野の方が含まれています。
いずれも生成AIに対して何らかの興味を持ち、セミナーを通じて具体的に学びたいという動機がうかがえます。
- セミナーへの参加経路・目的
多くが「おおいたAIテクノロジーセンター関連の案内」や「主催セミナーの情報」などを通じて本セミナーを知ったと回答。「AIに興味があったから」「AIを実務で活用できるのではと考えた」など、スキル習得・実務改善への期待が感じられます。

2. 生成AIに対する認識・体験

- 受講前の生成AI使用経験
 - 経験が「ない」という回答者は複数存在し、「ある」人は用途として「アイデア出し」「資料作成」「プレゼン準備」といったビジネス寄りの目的で使っていたことが分かります。
 - 受講前の姿勢としては、「積極的に使いたい」「どちらかと言うと使いたい」という意欲が高く、初めて使う人も含めて期待値が高かったようです。
- セミナー内容の有益性
 - 多くの回答で「様々な生成AIの活用（体験）」「対話型生成AIの仕組み・注意事項」などが有益だったとされています。特に「異なるツールを一通り体験できたこと」「実用的なAIサービスの紹介」が役立ったという声が複数ありました。
 - 一方で、ごく一部の回答には「より実践的な内容を期待していた」「あまり役に立たなかった」という意見もあり、もう少し深いレベルの操作や導入事例を望んでいた様子が見えます。

3. 学びと今後の活用

- セミナーを通じた学び
 - 「生成AIに関する基本的な知識や実演を短時間で把握できた」「リテラシーを改めて考える機会になった」「AIサイトを一覧で知ることができ目から鱗だった」といったポジティブな感想が多いです。
 - 「チャットGPT以外にも多様な生成AIがあるとわかり、仕事や趣味の場面で使えそう」という意見が散見され、受講後はより幅広いAI活用を意識しているようです。

- 今後の利用意欲・アイデア

- 講座受講後は「年賀状作成」「プレゼン資料のデザイン」「仕事と個人の両面でのアイデア出し・資料作成」といった具体的な活用を考える回答があり、複数の受講者が「積極的に使いたい」へ意識を高めています。
- 自営業や管理職の立場からは「業務効率化」「社内提案資料のクオリティ向上」を視野に入れた意見も見られ、すでに仕事へ組み込む計画がある様子です。

まとめ

今回の「生成AI入門セミナー」には、多様な業種・職種の社会人受講者が参加しており、受講前から生成AIへの関心が比較的高い層が多かったと推察されます。セミナーを通して、複数のAIサービスや利用上の注意点を知り、ビジネスや個人の場面で試してみる意欲が高まったという回答がほとんどでした。また、より実践的・詳細な活用を望む声も一部見られることから、今後はもう一歩踏み込んだ事例共有やハンズオンを求めるニーズがあると考えられます。